

令和6年(2024年)9月30日

1 啓発イベント

(1)環境フェアでのパネル展

開催日時: 令和5年7月22日(土)

開催場所: 平塚文化芸術ホール

開催内容: 令和元年度～3年度の自然環境調査の結果を中心に、ひらつか生物多様性推進協議会の活動内容を紹介するパネルを展示。



(2)自然観察会(昆虫観察 ライトトラップ)

開催日時: 令和5年7月30日(日)

開催場所: 里山体験フィールド

開催内容: 昆虫班の堀田リーダーを中心に、里山体験フィールドの谷戸田付近に幕を設置し、光に集まってきた昆虫を観察するイベントを開催した。

参加者: 昆虫班メンバー 3人
市民参加者 33人
市環境保全課 2人



(3) 生物多様性パネル展

開催日時: 令和5年8月2日(水)～10日(木)

開催場所: 市役所本館多目的スペース

開催内容: 市役所来庁者への啓発を目的として、令和元年度～3年度の自然環境調査の結果を中心にひらつか生物多様性推進協議会の活動内容を紹介するパネルを展示。



2 生物多様性保全に関する支援

(1) 調査員養成講座の実施

植物分野で実施。「植物を知る講座」と題し、5月～11月に全4回と、1月に番外編を開催。

開催日時:

第1回 令和5年 5月28日(日)

第2回 令和5年 7月 2日(日)

第3回 令和5年10月14日(土)

第4回 令和5年12月 3日(日)

開催場所:

土屋霊園周辺

里山体験フィールド

海岸

土屋頭無

番外編 令和6年 1月13日(土)

青少年会館

「植物標本づくり」

参加者: 植物班メンバー 3人

市民参加者 9人

市環境保全課 1人

将来の調査員を養成する目的であるが、今年度は、まず野外を歩きながら植物の多様性を感じてもらい、興味を広げてもらう内容で実施。参加者の要望で、番外編の標本づくり講座も開催した。市民参加者のうち、1名は植物の知識もあり、調査活動への興味を示していただいたため、今年度の調査に参加した。



アクションプラン進捗状況&評価

基本方針と取り組み	リーディングプロジェクト	進捗状況	評価理由
		2023年度	
基本方針1：豊かな自然環境の保全			
1. ひらつかの自然重要10地区の保全	★	○	土地利用の変化を起こす工事において、自主的な生物多様性への配慮を促すための指針を整備することになっており、作成をした。今後は平塚市の全部署に意見照会を行い、策定となる。
2. 生態系ネットワークの形成・推進		△	相談があった場合は、生物多様性に配慮した緑化を推奨し、情報提供を行うが、能動的に市民、企業、国、県、関係市町と連携できているとは言えない。
基本方針2：生物多様性に配慮した生態系管理の推進			
3. 自然環境アドバイザー制度の創設	★	◎	制度創設に伴う規約の作成、講師の選任等を行った。次年度より運用開始。
4. 外来種・有害鳥獣対策の推進		△	平塚市ホームページでは外来生物等の注意喚起を載せているが、実際に外来生物を駆除（主に植物）するイベント等は出来ていない。
5. 生物多様性に配慮した管理の推進		○	湘南地域で唯一、珍しい植物のヒキオコシが自生する湘南平に保護を依頼する看板を設置（令和4年）。引き続き看板を設置し、保護している。
基本方針3：自然とのふれあいの機会の拡充			
6. 普及啓発と活動拠点の整備の推進	★	◎	重要10地区付近の公民館など（金目公民館とびわ青少年の家）に自然環境調査の結果などを配置した。
7. 自然環境調査の定期的な実施と人材育成	★	◎	植物講座入門編として全5回（番外編含む）実施し、将来に向けた継続的な活動を促した。市内における動植物の分布状況を把握するため各班で自然環境調査を実施した。
8. 生物多様性の情報収集・発信と活動の推進		◎	生物多様性のパネル展（市本庁舎）を実施し、情報発信した。
9. 環境学習機会の拡充		○	昆虫観察会（ライトトラップ）の実施を行い、参加者が身近な自然や生きものに興味を持てるよう、生きものの生活や環境との関わりについて解説した。

進捗状況：順調◎、ほぼ順調○、やや遅延△、遅延×